

城
端
町

行政史



城端町全景

発刊のことば

平成一六年一月一日、城端町・平村・上平村・利賀村・井波町・井口村・福野町・福光町の八町村が合併し南砺市が誕生しました。八つの地域が持つ豊かな自然・文化・伝統を受け継ぎ、「自然・文化・交流が織りなす創造とやすらぎの南砺市」を目指し、それぞれの地域が共に手を携えてその基礎づくりに努力しております。

旧城端町は善徳寺を中心に栄え、曳山や庵唄など様々な伝統が今も息づく歴史と文化の町であり、開町四三〇余年を誇る地域であります。本書は昭和三四年に発刊された『城端町史』以降の事柄について記録し後世に伝えることを目的に、合併以前から企画され編纂されたものであります。『城端町史』はこの機会に復刻し、また、抜粋してまとめた『抄記 城端町史』も発刊しておりますので、本書とあわせて旧城端町の歩みにふれていただければ幸いに存じます。そして、この地域に生まれ育った誇りを胸に、新しく生まれ変わった南砺市とともにさらに飛躍されることを祈念する次第であります。

終わりに、この編纂にあたってご協力賜りました各位に厚く感謝申し上げます。発刊のことばといたします。

平成一七年一月吉日

南砺市長 溝口 進

『城端町 行政史』の発刊に当たって

城端町は、昭和二七年五月一日に城端区域一町四村が合併して以来五二年、平成一六年一月一日、平成の合併によって南砺市に生まれ変わり、その幕を閉じました。

南砺市になっても、生まれ育った故郷城端町は永遠であり、誰しもがこれを愛し、より発展してくれることを望み、後世にその名を留めて欲しいと願うのは当然であります。

そして、城端町の古を知り、二一世紀に更なる飛躍を期待するのも当然の理でございます。このたび、昭和三四年に発刊された『城端町史』以後について記録した『城端町 行政史』が発刊されますことは、非常に喜ばしいことと存じます。多くの方に広く城端町の歴史をご理解いただき、この地域を愛し、地域振興の礎としていただくことを切に願うものであります。

願わくは、この際この趣旨を深くご理解下さり、御愛読いただくようお願い申し上げます。

終わりに、この発刊に当たり、編集を担当された城端町行政史検討委員会の方々をはじめ、資料を提供いただくなど御協力いただいた多くの方々に謝意を表し、発刊に当たったことばといたします。

平成一七年一月吉日

元城端町長 岩田 忠正

城端町 行政史 目次

発刊のことは

『城端町 行政史』の発刊に当たって

第一章 町 政

第一節 町 勢	一
第一項 町制・町域	一
第二項 人口・世帯	二
第二節 選 挙	七
第一項 町長選挙	七
第二項 町議会議員選挙	七
第三項 県議会議員選挙	八
第四項 その他選挙	九
第三節 町 議 会	一一
第一項 議会の組織	一五
第二項 議会役員人事	一八
第三項 議会運営	二二
第四節 町 政	二四
第一項 町村合併	二四
第二項 平成の市町村合併	二六

第三項	総合計画とまちづくり	二九
-----	------------	----

第四項	行政機構（組織・事務処理改革・地方分権）	三三
-----	----------------------	----

第五項	事務処理	三六
-----	------	----

第六項	広域行政	四三
-----	------	----

第七項	広報・公聴	四九
-----	-------	----

第五節	財 政	五
-----	-----	---

第一項	財務事務	五
-----	------	---

第二項	歳入・歳出（予算、決算）	五三
-----	--------------	----

第三項	基 金	六一
-----	-----	----

第四項	税 制	六五
-----	-----	----

第二章 生 活

第一節	環境衛生	六九
-----	------	----

第一項	上 水 道	六九
-----	-------	----

第二項	下 水 道	七
-----	-------	---

第三項	ごみ処理	七八
-----	------	----

第四項	し 尿	九四
-----	-----	----

第五項	環境と公害	九六
-----	-------	----

第六項	火葬場・墓地	九九
-----	--------	----

第二節	防災・安全	一〇一
-----	-------	-----

第一項	消 防	一〇一
-----	-----	-----

第二項	安 全	一三
-----	-----	----

第三章 福祉・医療

第三項 災 害	二七
第四項 除 雪	二五
第三節 道 路	三三
第一項 国 道	三三
第二項 県 道	四三
第三項 町 道	四四
第四項 東海北陸自動車道	五三
第四節 河 川	五七
第一項 砺波山田川ダム	五七
第二項 池川ダム	六〇
第五節 都市計画	六一
第一項 都市計画策定	六一
第二項 都市計画街路の整備	六三
第三項 公 園	六七
第四項 公営住宅	六八
第五項 交通・運輸・通信	七二
第六項 電 力	七九
第一節 福 祉	八二
第一項 児童福祉	八二
第二項 社会福祉	九七

第三項	高齢者福祉	二〇四
第四項	福祉ゾーン	二〇七
第五項	保険・年金	二二三
第二節	保健と医療	二二六
第一項	乳幼児と母子保健	二二六
第二項	成人と老人の保健	二三一
第三項	伝染病と防疫	二三〇
第四項	保健センター	二三三
第五項	医療保険制度	二三八
第六項	病院	二四三

第四章 産業

第一節	農業	二五二
第一項	農業振興	二五三
第二項	農業団体	二六八
第三項	土地改良	二七三
第四項	用水	二七九
第二節	林業	二八一
第一項	林業振興	二八一
第二項	林道整備	二八三
第三節	水産	二九一
第一項	桜ヶ池	二九一

第二項	山田川と池川	二九三
第四節	商業	二九四
第一項	商工会	二九四
第二項	商店街近代化	三〇二
第五節	工業	三〇九
第一項	工業団体と労働	三〇九
第二項	工業団地と企業誘致	三二七
第三項	城端の企業	三三〇
第六節	観光	三三九
第一項	観光協会	三三九
第二項	まつり	三三三
第三項	観光施設、公園	三四二
第四項	自然活用	三五一
第五項	その他の観光活動	三五四
第五章	教育	
第一節	学校教育	三五六
第一項	教育委員会	三五六
第二項	幼稚園	三六〇
第三項	小学校	三六二
第四項	中学校	三八二
第五項	その他教育委員会	三九八

第二節 生涯学習	三九
----------	----

第一項 社会教育から生涯学習へ	三九
-----------------	----

第二項 家庭教育（婦人会活動）	四〇一
-----------------	-----

第三項 青少年教育	四〇三
-----------	-----

第四項 成人教育	四二
----------	----

第五項 高齢者教育	四二五
-----------	-----

第六項 公民館	四六
---------	----

第七項 図書館	四二〇
---------	-----

第八項 その他団体	四三
-----------	----

第三節 スポーツ	四二九
----------	-----

第一項 社会体育団体	四二九
------------	-----

第二項 スポーツ大会	四四八
------------	-----

第三項 体育施設	四五九
----------	-----

第六章 文化

第一節 文化財	四六四
---------	-----

第一項 国・県・町指定文化財	四六四
----------------	-----

第二項 埋蔵文化財の調査	四六七
--------------	-----

第二節 芸能文化	四六八
----------	-----

第一項 美術・工芸・芸能	四六八
--------------	-----

第二項 謡曲	四七一
--------	-----

第三節 行事	四七三
--------	-----

第一項 祭 事	四七三
第二項 季節行事	四七五
資料編	四八〇
付 録	四八七
年 表	五七四
自治功労等表彰者名簿	
城端町行政史検討委員会委員名簿・行政史執筆者等名簿	
編集後記	

